



第6図 長崎の6月と10月の降雨量

つまりこれは、梅雨の雨量がほぼ同量に近い地域および年には、相関関係がより大きくなると言えるのではないだろうか。(日本気象学会, 1989年春季大会にて発表)

第2表 東京, 横浜の6月と10月の降雨量の相関係数

移動平均年数	東京	横浜
1年	-0.136	-0.157
2年	-0.207	-0.225
3年	-0.284	-0.274
4年	-0.411	-0.417
5年	-0.501	-0.532
6年	-0.487	-0.549
7年	-0.434	-0.539
8年	-0.317	-0.490
9年	-0.178	-0.404

3. おわりに

本稿は、東海地方における地震活動と降雨量との関係を研究していく過程において得られた結果である。研究の結果、東海地方の地震活動は長期的にみて、季節的に変化し平均的な降雨量と逆の相関をもっているが、地震が多く発生するのは、梅雨期に降雨量が多く、従って秋雨の降雨量が少ない年の11月であることなどがわかってきた。

謝辞

本稿の結果に興味をもたれ、気象学会での講演を勧められた、駒林 誠氏および、浅井富雄氏に深く感謝します。

スーパーコンピュータ CPU 提供のお知らせ

(財) 科学教育研究会の「スーパーコンピュータと社会」研究委員会から、下記の要領で、CPU 計算時間の提供申し出がありました。スーパーコンピュータによる環境問題の研究を発展させるため、特に、スーパーコンピュータが大量に必要な分野の一つとして気象学が選ばれました。以下の案内を御覧のうえ、希望者は応募要領に従って、1990年9月20日までに学会事務局へ申し出て下さい。

提供内容 NEC/SX-2A を、CPU で 200 時間、
1990年10月 (予定) ~1991年3月末の期間
提供する。

提供条件

- (1) 応募資格は日本気象学会であること。
- (2) 単に大きな計算を行うというものでなく、スーパーコンピュータを用いて初めて実現する研究テ

マを募集する。効率的に計算時間を投入することを目的とするため、採用は原則として一件のみとし、選考は気象学会理事長が任命する選考委員会が行う。

- (3) 東京都中央区勝どきにあるスーパーコンピュータ研究所 (ISR) 設置の端末から使用する。
- (4) 研究成果は研究者本人に帰属する。研究終了後、「スーパーコンピュータと社会」研究委員会が主催するセミナーで研究報告を行うとともに、上記研究所のニュースレターにレポートを提出する。

応募要領

- A 4 版用紙を使用しワープロで、①研究者氏名所属 (複数の時は連記)、②連絡先、③研究テーマの概要、④スーパーコンピュータ使用の理由を明記すること。